

事業報告書

(1) 流域下水道施設の維持管理

ア 「九頭竜川流域下水道運転管理業務」の受託契約（令和4年4月1日福井県）

- ・対象施設 九頭竜川浄化センター、中継ポンプ場（竹田川、兵庫川、片川、芦原、春江、北潟）
幹線管渠
- ・業務内容 施設の運転操作および保守点検
施設および設備の小規模補修
施設および設備の警備および清掃
汚泥の処理処分
水質および汚泥等の分析
流入水量の計測

イ 流入水量

区分	令和4年度	令和3年度	前年比
全体流入水量	17,098,651 m ³	17,450,493 m ³	2.0%減
1日平均水量	46,846 m ³	47,810 m ³	2.0%減

ウ 市別流入水量

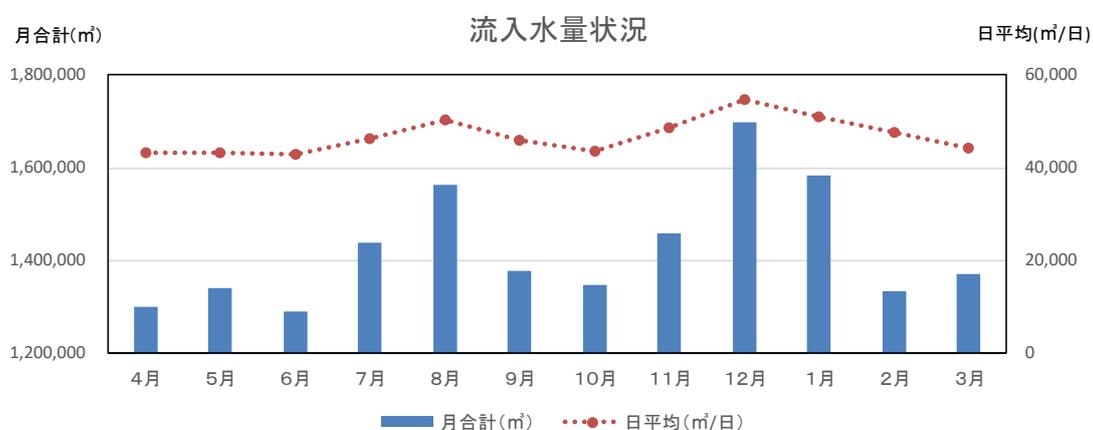
	令和4年度	令和3年度	前年比	摘要
福井市	3,004,610 m ³	2,940,662 m ³	2.2%増	昭和62年 6月供用開始
あわら市	4,347,174 m ³	4,313,258 m ³	0.8%増	昭和59年 7月供用開始 昭和60年10月 "
坂井市	9,746,867 m ³	10,196,573 m ³	4.4%減	昭和57年 7月供用開始 昭和62年 4月 " 平成 元年 4月 "
合計	17,098,651 m ³	17,450,493 m ³	2.0%減	

エ 九頭竜川浄化センター流入状況、水質状況

・ 流入状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月合計(m ³)	1,298,550	1,341,087	1,289,397	1,437,308	1,564,100	1,375,850
日平均(m ³ /日)	43,285	43,261	42,980	46,365	50,455	45,862

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月合計(m ³)	1,412,572	1,301,222	1,716,798	1,512,597	1,465,572	1,383,598	17,098,651
日平均(m ³ /日)	45,567	43,374	55,381	48,793	52,342	44,632	46,846



・ 水質状況

項目	放流水		放流基準値	測定回数
	平均值	最大値		
pH (水素イオン濃度)	7.0	7.4	5.8~8.6	243
	6.5			
BOD (mg/ℓ) (生物化学的酸素要求量)	5.4	14.6	15mg/ℓ以下	138
	1.8			
S S (mg/ℓ) (浮遊物質)	2.6	6.2	40mg/ℓ以下	138
	0.2			
大腸菌群数 (個/cm ³)	30未満	30未満	3,000個/cm ³ 以下	46
	30未満			
	30未満			

※ 放流基準値は下水道法で定められている。

(2) 下水道に関する調査研究・研修

「下水道のPR方法に関する調査研究・研修」

施設見学など下水道知識の普及・啓発事業を実施しているが、アおよびイの調査等を行い、現状における課題や改善点を整理し、SDGs等新たなPR方法を開発するための知見を得た。

ア 地元高校生からの意見

三国高校が行う三国の環境資源・文化資源を探求する「三国地域学」において、九頭竜川流域下水道の出前授業と施設見学を令和4年6月、同年9月に実施し、参加学生23名にアンケートを実施した。

イ 専門家からの助言

県内下水道従事者（官民）を対象にした下記研修会を実施し、下水道事業の広報に関して専門家からの助言を得た。

- ・研修名 下水道技術研修会
- ・開催日 令和4年9月21日
- ・場所 ユー・アイふくい 映像ホール
- ・研修内容 講演「実はイマとは真逆じゃない？下水道広報活動の切り口」
講師 粕谷 浩子
(福井県よろず支援拠点事業 広報戦略アドバイザー (株)お雑煮やさん代表取締役)
- ・講演趣旨 現在の下水道の広報は「下水道がないと汚いものが増える」といったマイナスイメージを基にしたものが多いと思われるが、「キレイを作り出す」といったプラスイメージを強く押し出したほうが下水道利用者に受け入れやすいと思われる。
- ・参加者数 33名

(3) 下水道知識の普及・啓発

ア 施設見学者への下水道のしくみの説明と処理場内の案内

見学者にパンフレットを配布して下水道のしくみを説明し、浄化センター内の案内を行った。

＜令和4年度見学者＞	学校関係	142名
	一般	11名
	官公庁	16名
	計	169名

イ 施設見学会の開催

県内在住の小学生を対象に施設見学会を行った。

- ・名 称 夏休み九頭竜川浄化センター施設見学会
- ・開催日 令和4年8月5日
- ・内 容 九頭竜川浄化センターの施設案内（水処理棟、汚泥処理棟、消化ガス発電設備他）
トイレトペーパーを使った実験、微生物の観察
- ・参加者数 11名

ウ 浄化センター芝生広場の利用

下水道事業の普及啓発や浄化センターのイメージアップを図るため、浄化センター芝生広場を開放し、周辺地域住民が運動施設として利用した。

- ・利用期間
令和4年4月1日～令和5年3月31日
- ・のべ利用者数
7,322名

エ ホームページによる普及啓発

福井県下水道公社ホームページを通して、下水道知識の普及啓発および情報公開を行った。

URL <http://www.fukui-swc.jp/>